

# 「ちばエコ農産物」栽培のために！ (品目別栽培カード 31)



## ニンジン・トンネル春どり栽培

千葉県農林水産部

### 1 栽培基準

ニンジンの「ちばエコ農産物」の栽培基準は、トンネル春どり栽培と秋冬どり栽培で設けられています。トンネル春どり栽培における化学合成農薬の使用成分回数と化学肥料使用量(窒素分量)は、表1のとおりです。



▲春どり栽培 (トンネル除去後)

表1 ニンジン・トンネル春どり栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準

(平成23年4月現在)

作型	上 限 量		堆肥目安量(kg/10a)			
	化学合成農薬 (使用成分×回数)	化学肥料使用量 (窒素成分kg/10a)	牛ふん	豚ふん	鶏ふん	土づくり 的堆肥
トンネル 春どり	6	10	1,600	600	400	2,000

## 2 栽培基準達成のポイントと考え方

### 1 病虫害防除

「ちばエコ農産物」の栽培基準に適合した農薬防除例を表2に示します。

病虫害防除では、まず、病虫害の発生状況を観察し、防除する必要がある病虫害を把握しておくことが重要です。ニンジン春どり栽培で発生が多い病害は黒葉枯病としみ腐病で、生育後半に発生がみられます。害虫では、ネキリムシ類、ヨトウムシ類、アブラムシ類の発生がみられます。

化学合成農薬を削減するためには、連作を避けるなど耕種的防除を行うこと、病虫害の早期発見に努めること、天然物質由来の農薬であるポリオキシシンAL水和剤の活用等が必要です。

表2 ニンジン・トンネル春どり栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した農薬防除例

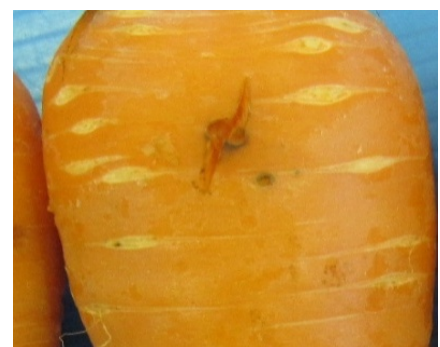
処理時期	主要作業	農薬名	10a当たり使用量 (希釈倍数等)	対象病虫害	備考
1月下旬 (施肥時)	播種	ネマトリンエース粒剤	20kg	ネコブセンチュウ等	
		フォース粒剤	4kg	ネキリムシ類	
		クレマートU粒剤	4~6kg	一年生雑草	
3月下旬	間引き				
5月上旬	トンネル除去	※ポリオキシシンAL水和剤	500倍	黒葉枯病	発生に応じて使用
5月中旬		ストロビーフロアブル	2,000倍	黒葉枯病	発生に応じて使用
		ラーピソフロアブル	1,000倍	ハスモンヨトウ	発生に応じて使用
5月下旬		※ポリオキシシンAL水和剤	500倍	黒葉枯病	発生に応じて使用
6月上旬	収穫				

注) ※印は、「ちばエコ農業」における化学合成農薬に含めない農薬

#### A ほ場準備 ～早めのほ場準備で耕種的防除～

##### ●適切に病虫害を防除する

土壌病虫害には耕種的防除が有効です。黒葉枯病としみ腐病の対策として、連作を避ける、排水を良くすることが有効です。線虫類対策としては、連作を避け、ギニアグラス等の対抗植物を緑肥として前作に導入することが効果的です。ネキリムシ類は、作付け予定の1か月以上前から餌となる緑肥作物や雑草等を生やさないようにすることで減らせます。



▲しみ腐病

##### ●雑草を防除する

雑草の発生が多いほ場では、トンネル内に雑草が繁茂し、ニンジンの生育や収穫作業を妨げることがあります。普段から雑草を防除し、雑草の種子をほ場内に入れないことが大切ですが、雑草の多発生が予測される場合には、播種時にクレマートU粒剤等で防除します。

## B 生育期 ～病害虫の発生を観察して、過剰な農薬散布を回避する～

### ●定植時には粒剤を施用する

生育初期にネキリムシ類や線虫類の被害を受けると影響が大きいので、発生が心配される場合は、確実に防除します。定植時にこれらに効果の高いフォース粒剤やネマトリンエース粒剤を施用することで、発生を抑えられます。

### ●害虫は早期発見に努める

害虫は3月以降、暖かくなると発生しやすくなります。ヨトウムシ類は、終齢幼虫になると、葉の食害速度が早く農薬も効きづらいので、早期発見に努め、ラービフロアブル等で防除します。アブラムシ類は、アブラバチやナミテントウ等天敵が多いことから低密度では防除の必要はありません。しかし、多発時には病気を伝播することがあるので、アドマイヤー顆粒水和剤等で防除します。



▲ヨトウムシ類



▲アブラムシ類

## C 栽培後期 ～収穫物への影響を考慮し適期防除を行う～

### ●黒葉枯病を中心に病害対策は発生前の予防的な散布を心掛ける

雨が多く25～30℃となる頃には、黒葉枯病等の病害の多発が懸念されるため、10日おきを目安に予防散布を行います。農薬には「ちばエコ農業」において定められた化学合成農薬に含めないポリオキシシンAL水和剤を活用します。

### ●適期収穫を行う

収穫が遅れると病害虫が発生しやすくなります。特に、しみ腐病は、梅雨後期に多発する傾向にあるので、早めに収穫することで被害を軽減できます。



▲黒葉枯病

### ●農薬の使用に当たっては、各薬剤の収穫前使用可能日数を厳守する

ニンジン栽培では、ポリオキシシンAL水和剤、ストロビーフロアブル等の殺菌剤は収穫7日前までが使用の期限です。農薬を使用する前には、使用基準を必ず確認します。

## 2 施肥と土づくり

「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した堆肥及び肥料の施用例を表3に示します。堆肥による土づくりに加えて、有機質肥料の施用により、「ちばエコ農産物」の栽培基準の達成が可能です。

なお、表3の施肥例は主要農作物等施肥基準（平成21年、千葉県）の施肥量に準じていますが、各ほ場の施肥量は土壌診断に基づいて決めます。

また、登録名称内に「有機」などの文字が記載された肥料であっても、化学肥料由来の窒素を含んでいることが多いので、JAまたは肥料販売業者に問い合わせて、有機質由来と化学肥料由来の窒素の割合を把握しておく必要があります。



▲ニンジン収穫物 上段：ちばエコ栽培  
下段：慣行栽培

表3 ニンジン春どり栽培の「ちばエコ農産物」栽培基準に適合した堆肥及び肥料の施用例

区分	製品名	保証成分量(%)			現物施用量 (kg/10a)	成分施用量(kg/10a)		
		窒素	りん酸	加里		窒素	りん酸	加里
堆肥	稲わら堆肥				2,000			
基肥	菜種油かす	5	2	1	41	2.1(0)	0.8	0.4
	乾燥鶏ふん	3	9	4	187	5.6(0)	16.8	7.5
	CDU複合燐加安S555号	15(15)	15	15	49	7.4(7.4)	7.4	7.4
	硫酸加里			50	10			5.0
総施用量						15.1(7.4)	25.0	20.3

注) ( ) 内は、総窒素量のうち、化学肥料由来の窒素成分量

☆この「品目別栽培カード」に記載した農薬・肥料使用例は、平成22年度場内実証試験時点のものです。実際の農薬使用に際しては、ラベルの表示をよく確認するとともに、最新の農薬使用基準を守って使用してください。

なお、栽培基準は平成23年4月改訂後のものを記載しています。

- 著 作 千葉県農林水産部担い手支援課  
千葉県農林総合研究センター
- 編集・発行 千葉県農林水産部安全農業推進課
- 発行年月日 平成23年11月

■内容についての問い合わせ先

千葉県農林総合研究センター 北総園芸研究所  
TEL. 0478(59)2100



千葉県マスコットキャラクター チーバくん

CHIBAちば